番号	項目	変更前文章	変更後文章
序章　はじめに 1. 計画作成の背景と目的			
1		滋賀県南部に位置する湖南市（以下、「本市」といいます。）は、南にある阿星山系、北にある岩根山系という2つの山系に囲まれています。また、中央部には野洲川が流れており、琵琶湖まで続いています。	滋賀県南部に位置する湖南市（以下、「本市」といいます。）は、南にある阿**星**(あぼし)**山系**(さんけい)**、北にある岩根**(いわね)**山系**(さんけい)**という2つの山系に囲まれています。また、中央部には野洲川**(やすがわ)**が流れており、琵琶湖**(びわこ)まで続いています。
2		この地理的特徴により、古代の都であった紫香楽宮や万葉集に登場する歌人の額田王などが活躍した舞台である蒲生野、	この地理的特徴により、古代の都であった紫香楽宮**(しがらきのみや)**や万葉集に登場する歌人の額田王**(ぬかたのおおきみ)**などが活躍した舞台である蒲生野**(がもうの)、
3		このつながりによる人や文化の交流によって「湖南市らしさ」が形成されてきました。	このつながりによる人や文化の交流によって**本市の歴史文化が形成されてきました。**
4		本市には湖南三山と呼ばれる国宝の建造物や信仰に関わる美術工芸品、東海道沿いの観光名所の一つであった天然記念物など、本市	本市には**湖南(こなん)三山(さんざん)**と呼ばれる国宝の建造物や信仰に関わる美術工芸品、東海道沿いの観光名所の一つであった天然記

番号	項目	変更前文章	変更後文章
		らしさを表す多種多様な文化財が残っています。	念物など、多種多様な文化財が残っています。
5		現在、国や県、市の指定等を受けている文化財は計 120 件あり、文化財保護法や県、市の条例等に従って保護の措置を図っています。	現在、国や県、市の指定**など**を受けている文化財は計 120 件あり、文化財保護法や県、市の条例**など**に従って保護の措置を図っています。
6		また、これらの文化財を未来に継承するため、各まちづくり協議会の協力を得ながら、保存活動や学校教育、社会教育での郷土史の学習機会の提供を行っています。	また、これらの文化財を未来に継承するため、各まちづくり協議会の協力を得ながら、保存活動や学校教育、社会教育での郷土史の学習機会の提供を行っています。
7		特に、国指定天然記念物である平松のウツクシマツ自生地では、令和3年度（2021）に保存活用計画を策定し、市が中心となって保全活動を行っているほか、	特に、国指定天然記念物である平松のウツクシマツ自生地では、令和3年度（2021）に保存活用計画を策定し、市が中心となって保全活動を行っているほか、
8		地元の小学校の子どもたちに定期的に見学や保存活動体験に来てもらう取組を行っています。	地元の小学校の子どもたちに定期的に見学や保存活動体験に来てもらう取組を行っています。
9		そのほか、各まちづくり協議会や観光協会の協力を得ながら、文化財	そのほか、各まちづくり協議会や観光協会の協力を得ながら、文化財を

番号	項目	変更前文章	変更後文章
		を取り巻く環境整備や看板の設置、パンフレット等の作成を行い、情報発信に努めています。	取り巻く環境整備や看板の設置、パンフレット**など**の作成を行い、情報発信に努めています。
10		しかし、近年住宅地や商工業地の開発が進み、他の地域から引っ越してくる人が増加しており、	**しかし、本市では少子高齢化による地域コミュニティの弱体化や地域のまつり・行事の担い手不足などが進んでおり、**
11		地域の伝統や文化を守り続けることが難しくなってきています。こうしたことから、本市らしさを表す文化財をどのように将来に継承していくのかが課題となっています。	**地域で大切に守られてきた文化財を将来に保存・継承することが難しい状況となっています。一方、近年住宅地や商工業地の開発が進み、他の地域から引っ越してくる人が増加していることから、多様な価値観やライフスタイルなどを認めつつ、本市に残る文化財をともに保存・活用していくための取組を行うことが求められています。**
12		平成 30 年（2018）の文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号）の改正により、県が策定した文化財保存活用大綱を勘案しつつ、各市町村の文化財の保存・活用に関する総合的な計画である文化財保存活用地域計画を作成することなどが制度化されました。	平成 30 年（2018）の文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号）の改正により、県が策定した文化財保存活用大綱を勘案しつつ、各市町村の文化財の保存・活用に関する総合的な計画である文化財保存活用地域計画を作成することなどが制度化されました。

番号	項目	変更前文章	変更後文章
13		そこで、本市らしさを表す貴重な文化財を次世代に確実に継承していくため、文化財保護法第 183 条の3に基づき、文化財の保存・活用に係る基本計画であり行動計画でもある『湖南市文化財保存活用地域計画（以下、「本計画」といいます。）を作成します。	そこで、**本市に残る**貴重な文化財を次世代に確実に継承していくため、文化財保護法第 183 条の3に基づき、文化財の保存・活用に係る基本計画であり行動計画でもある『湖南市文化財保存活用地域計画（以下、「本計画」といいます。）を作成します。
序章　はじめに 2. 計画期間			
14		本計画の計画期間は、令和9年度（2027）から令和 18 年度（2036）までの 10 年間とします。	本計画の計画期間は、令和9年度（2027）から令和 18 年度（2036）までの 10 年間とします。
15		本市の最上位計画である『湖南市総合計画』は、計画の維持および内容向上のため、半期（5年）ごとに計画の見直しを行い、さらに各年で計画内容の点検を行うとしています。	計画期間中においては、**（仮称）湖南市文化財保存活用地域計画協議会を設置することとし、後述の事業計画内容（第7章参照）に基づき毎年点検を行います。**
16		本計画も、計画の実効性の確保・向上をめざす必要があり、そのためには『湖南市総合計画』同様に	**また、『第三次湖南市総合計画』（令和8年度（2026）～令和 17 年度（2035））との整合性が保てるよう中**

番号	項目	変更前文章	変更後文章
		計画の進捗管理と自己評価を行っていくことが必要です。	**間評価を行い、必要に応じて見直しを行います。**
17		そこで、『第三次湖南市総合計画』（令和8年度（2026）から令和 17 年度（2035））との整合性が保てるよう、『湖南市総合計画』に合わせた計画期間を設定し、この間、計画の点検を行いながら必要に応じて見直しを行うものとします。	**見直しにあたっては、アンケートなどで市民の意見を聴くものとします。**
18		なお、毎年の点検は後述の事業計画内容に基づくものとし、点検結果を湖南市文化財保護審議会に報告します。	**なお、計画期間の変更や市内に存する文化財の保存に影響を及ぼすおそれのある変更、地域計画の実施に支障が生じるおそれのある変更が起きた場合は、事前に文化庁と協議のうえ、文化庁長官の変更の認定を受けます。**
19		見直しにあたっては、アンケートなどで市民の意見を聴きながら、湖南市文化財保存活用地域計画協議会（仮称）を設置して行うものとします。	**それ以外の軽微な変更が生じた場合には、その内容について、滋賀県を経由して文化庁へ報告します。**

番号	項目	変更前文章	変更後文章
20		また、計画期間の変更や市内に存する文化財の保存に影響を及ぼすおそれのある変更、地域計画の実施に支障が生じるおそれのある変更が起きた場合は、事前に文化庁と協議のうえ、文化庁長官の変更の認定を受けます。	
21		それ以外の軽微な変更が生じた場合には、その内容について、滋賀県を経由して文化庁へ報告します。	
序章 3. 文化財の定義			
22		文化財保護法では、有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物、文化的景観、伝統的建造物群の6類型および埋蔵文化財、文化財の保存技術をあわせたものを保護の対象としています。	文化財保護法では、有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物、文化的景観、伝統的建造物群の6類型および埋蔵文化財、文化財の保存技術をあわせたものを保護の対象としています。
23		重要なものは国や県、市の指定等により保護の措置が図られてきま	重要なものは国や県、市の指定等により保護の措置が図られてきまし

番号	項目	変更前文章	変更後文章
		した（以下、「指定文化財」といいます。）。	た（以下、「指定文化財」といいます。）。
24		上記文化財類型に該当するものの指定などの措置が講じられていないものもあります（以下、「未指定文化財」といいます。）。	**一方、**上記文化財類型に該当するものの指定などの措置が講じられていないものもあります（以下、「未指定文化財」といいます。）。
25		それらは地域の人々によってこれまで大切に守られ、今日まで伝えられてきた多様なモノ・コトであり、	**また、これまで文化財類型に該当しなかった伝承や方言、地名、本市に貢献した人物の功績に関するものなども、地域の人々によって今日まで大切に守り伝えられ、**
26		本市らしさを表す重要な要素となっています（以下、「未指定文化財」といいます。）。	**本市の歴史文化を体現する**重要な要素となっています（以下、「その他の文化財」といいます。）。
27		本計画では、これら本市らしさを表す指定・未指定を含めた全ての文化財を本市の「文化財」に位置づけ、	**そこで、本計画では、古代から様々な地域とつながりを持つことで育まれた「湖南市らしさ」を形成し、今日まで大切に守り伝えられてきた「市民のたから」と言える指定・未指定・その他の文化財すべてを本市の「文化財」に位置づけ、計画の対象とします。**

番号	項目	変更前文章	変更後文章
28		計画の対象とします。	**これら文化財が相互に結び付き、自然や社会といった周辺環境と密接に関わりあうことで、本市の歴史文化を形成すると考えます。**
序章 4. 計画の位置付け			
29		本計画は、『滋賀県文化財保存活用大綱』を勘案し、本市の最上位計画である『湖南市総合計画』と整合性を図りつつ、本市の文化財を適切に次代へ保存・継承していけるよう、実効性を有する計画として作成するものです。	本計画は、『滋賀県文化財保存活用大綱』を勘案し、本市の最上位計画である『湖南市総合計画』と整合性を図りつつ、本市の文化財を適切に次代へ保存・継承していけるよう、実効性を有する計画として作成するものです。
30		また、関係部局が策定した諸計画と連携、整合したものとします。	また、関係部局が策定した諸計画と連携、整合したものとします。
序章 5. 計画作成の経過			
31		本計画の作成にあたっては、ワークショップやアンケートにより市民	本計画の作成にあたっては、ワークショップやアンケートにより市民の意

番号	項目	変更前文章	変更後文章
		の意見を聴取しながら進めました。また令和6年 12 月 18 日告示第 84 号で「湖南市文化財保存活用地域計画策定協議会組織要綱」を設置し、計画内容の検討などを行いました。	見を聴取しながら進めました。また令和6年 12 月 18 日告示第 84 号で「湖南市文化財保存活用地域計画策定協議会組織要綱」を設置し、計画内容の検討などを行いました。
32		さらに文化庁文化資源活用課および滋賀県文化スポーツ部文化財保護課の指導・助言を得ました。そして協議会や関係機関からの意見などを踏まえ、事務局（湖南市環境経済部商工観光労政課）が取りまとめ、令和8年（2026）8月に策定しました。	さらに文化庁文化資源活用課および滋賀県文化スポーツ部文化財保護課の指導・助言を得ました。そして協議会や関係機関からの意見などを踏まえ、事務局（湖南市環境経済部商工観光労政課）が取りまとめ、令和8年（2026）8月に策定しました。
第１章　湖南市の概要 １．自然的・地理的環境 （１）位置と概要			
33		本市は滋賀県南部に位置し、大阪・名古屋から 100km 圏内の近畿圏と中部圏をつなぐ広域交流拠点にあります。	本市は滋賀県南部に位置し、大阪・名古屋から 100km 圏内の近畿圏と中部圏をつなぐ広域交流拠点にあります。
34		市域の西側を栗東市、北西側を野洲市、北側を蒲生郡竜王町、東側	市域の西側を栗東市(りっとうし)、北西側を野洲市(やすし)、北側を蒲生郡(がもうぐん)竜王町(りゅうおうちょ

番号	項目	変更前文章	変更後文章
		と南側を甲賀市とそれぞれ接しています。	う)、東側と南側を甲賀市(こうかし)とそれぞれ接しています。
35		市の総面積は **70.40 ㎢**で、地形は平地・丘陵・山林に分かれ、山林が土地全体の **51.9%**を占めています。	市の総面積は **70.4 ㎢**で、地形は平地・丘陵・山林に分かれ、山林が土地全体の **51.9%**を占めています。
第1章　湖南市の概要 1．自然的・地理的環境 （2）地形・地質			
36	①地形	本市は、野洲川に沿って展開する平野部、野洲川の南北に展開する丘陵に分けることができます。このうち、南部の丘陵は標高 693.1ｍの阿星山を中心として美松山、人星山、大納言山、風呂山、烏ヶ嶽、鹿が谷、横田山、伝芳山からなる阿星山系、北部の丘陵は標高405.5ｍの岩根山（通称十二坊山）を中心に龍王山からなる岩根山系より形成されています。	本市は、野洲川に沿って展開する平野部、野洲川の南北に展開する丘陵に分けることができます。このうち、南部の丘陵は標高 693.1ｍの阿星山(**あぼしやま**)を中心として美松山(**びしょうざん**)、人星山(**ひとぼしやま**)、大納言山(**だいなごんやま**)、風呂山(**ふろやま**)、烏ヶ嶽(**からすがたけ**)、横田山、伝芳山(**でんぽうざん**)からなる阿星山系、北部の丘陵は標高 405.5ｍの岩根山(**いわねやま**)（通称十二坊山(**じゅうにぼうざん**)）を中心に龍王山からなる岩根山系より形成されています。

番号	項目	変更前文章	変更後文章
37		本市の中央部には、豊かな平野を形成する野洲川と、野洲川や日野川に流れ込む中小河川が流れています。	本市の中央部には、豊かな平野を形成する野洲川(**やすがわ**)と、野洲川や日野川に流れ込む中小河川が流れています。
38		野洲川は、鈴鹿山脈南部から流れ出す川です。山の南西側の斜面に水を集めて流れ、甲賀の山地と丘陵を削りながら進み、市の中心を通っていきます。その後、栗東市で広範囲の扇状地を形成し、さらに平らな土地（沖積平野）を形成しながら、琵琶湖へ流れ込む全長 61 kmの県内最大級の河川です。	野洲川は、鈴鹿山脈南部から流れ出す川です。山の南西側の斜面に水を集めて流れ、甲賀(**こうか**)の山地と丘陵を削りながら進み、市の中心を通っていきます。その後、**栗東市(**りっとうし**)で広範囲の扇状地を形成し、さらに平らな土地（沖積(**ちゅうせき**)平野）を形成しながら、琵琶湖(**びわこ**)へ流れ込む全長 61 kmの県内最大級の河川です。
39		中小河川には、野洲川に流れ込む落合川、宮川、大沙川、由良谷川、家棟川などの河川や祖父川に合流した後、蒲生郡竜王町を通って日野川に流れ込む茶釜川があります。	中小河川には、野洲川(やすがわ)に流れ込む落合川(おちあいがわ)、宮川、大沙川（**おおすな**)、由良谷川(**ゆらたにがわ**)、家棟川(**やのむねがわ**)などの河川や祖父川(**そふがわ**)に合流した後、蒲生郡(**がもうぐん**)竜王町(**りゅうおうちょう**)を通って日野川に流れ込む茶釜川(**ちゃがまがわ**)があります。
40		本市の河川の特徴として、前項で説明した花崗岩地帯の山系から流	本市の河川の特徴として、**山地を形成する花崗岩(かこうがん)地帯から**

番号	項目	変更前文章	変更後文章
		れているため、川の中に風化した花崗岩が堆積し、河床が周囲の地形より高まることで「天井川」が発達していることがあげられます。	**流出する河川では、風化した花崗岩の岩石（「マサ」といいます。）が多量に流出することから、**河床が周囲の地形よりも高まることで「天井川」となっています。
41		特に由良谷川・家棟川・大沙川は市内でも発達した天井川として知られ、旧東海道を横切って流れる3川には、街道を行き交う人馬の交通の利便向上を目的として大沙川に明治 17 年（1884）、由良谷川・家棧川に明治 19 年（1886）、それぞれ石造トンネル（隧道）が設置されました。	特に由良谷川(**ゆらたにがわ**)、家棟川(**やのむねがわ**)及び大沙川(**おおすながわ**)では河川の傾斜が急であり、著しい天井川として発達しています。旧東海道を横切って流れるこれら3川には、街道を行き交う人馬の交通の利便向上を目的として大沙川に明治 17 年（1884）、由良谷川・家棟川に明治 19 年（1886）、それぞれ石造トンネル（隧道(**ずいどう**)）が設置されました。
42		このうち家棟川は、昭和 54 年（1979）年に平地河川化工事され、その際に隧道も解体・撤去されています。現在は、隧道に掲げられていた扁額が川の脇に保存されています。また由良谷川も平地河川化していますが、隧道は現地保存され、今も当時の面影を残しています。	このうち家棟川（**やのむねがわ**)は、昭和 54 年（1979）年に平地河川化工事され、その際に隧道(**ずいどう**)も解体・撤去されています。現在は、隧道に掲げられていた扁額(**へんがく**)が川の脇に保存されています。また由良谷川(**ゆらたにがわ**)も平地河川化していますが、隧道は現地保存され、今も当時の面影を残しています。

番号	項目	変更前文章	変更後文章
43	②地質	本市の地質は、古生代、中生代、新生代の地層から成り、山地は花崗岩と堆積岩で構成されています。	本市には**中生代から新生代の地層が広く分布します。**
44		本市の地質は、古生代、中生代、新生代の地層から成り、山地は花崗岩と堆積岩で構成されています。	市の南北には、**中生代の花崗岩(かこうがん)類が広く分布し、山地を形成しています。**
45		石部地域付近にはチャートが広く分布しており、建設用のコンクリート骨材として採掘されています。	**輝水(きすい)鉛鉱(えんこう)や水晶などの鉱石を産出し、かつて採石の事業も行われていました。**
46		また、石部地域では石灰岩が肥料用に加工・販売されていましたが、戦後間もなく閉山しました。	また、本市で唯一の温泉はこの中生代の花崗岩類から産出しています。
47		灰山近くの銅鉱脈は江戸時代に知られており、マンガン鉱脈も戦後に採鉱されました。	**野洲川(やすがわ)が流れる中央部には、約 260 万年前の古琵琶(こびわこ)湖層（湖成層(こせいそう)）が分布しています。**
48		阿星山麓の丘陵は古琵琶湖の湖成層で、約 500 万年前に形成されました。また昭和 63 年（1988）	**昭和 63 年（1988）にその地層からゾウやシカなどの動物の足跡化石**

番号	項目	変更前文章	変更後文章
		には野洲川河床からゾウやシカの足跡化石が発見されています。	**が発見され、日本の足跡化石研究発祥の地とされています。**
49		-	**市の西側の石部地区には、中生代のチャートや石灰岩（大理石）が分布し、鉄や銅及びマンガンなどの鉱石を産出しています。**
50		-	**石灰岩は江戸時代から肥料や塗料に利用され、昭和 30 年代まで採掘されていました。**
第1章　湖南市の概要 1．自然的・地理的環境 （3）湖南市の気候			
51		本市は太平洋型気候に属し、周囲の山々によって季節風が遮られることから年間平均気温は 12.6℃、年間降水量は 1,534.6 ㎜を測る比較的温暖で降水量の多い地域です。	本市は太平洋型気候に属し、周囲の山々によって季節風が遮られることから年間平均気温は 12.6℃、年間降水量は 1,534.6 ㎜を測る比較的温暖で降水量の多い地域です。
第1章　湖南市の概要			

番号	項目	変更前文章	変更後文章
1．自然的・地理的環境 （4）湖南市の自然災害			
53	①風水害	本市では、山系を流れる河川が花崗岩を削り、下流にて天井川を形成しています。	本市では、山系を流れる河川が花崗岩**(かこうがん)**を削り、下流にて天井川**(てんじょうがわ)**を形成しています。
54		天井川は普段は水が流れない水無川が多い一方、川の断面積が小さいため少雨であってもあふれ、下流域に甚大な被害をもたらします。	天井川は普段は水が流れない水無川**(みずなしがわ)**が多い一方、川の断面積が小さいため少雨であってもあふれ、下流域に甚大**(じんだい)**な被害をもたらします。
55		近年、異常気象による風水害被害が全国で報告されており、本市では令和3年（2021）8月の大雨による出水被害がありました。	近年、異常気象による風水害被害が全国で報告されており、本市では令和3年（2021）8月の大雨による出水被害がありました。
56		過去には宝暦9年（1759）10 月に当時の三雲村妙感寺で発生した大規模な土石流災害が「妙感寺流れ」として伝わっており、	過去には宝暦9年（1759）10 月に当時の三雲村妙感寺**(みょうかんじ)**で発生した大規模な土石流災害が「妙感寺流れ」として伝わっており、

番号	項目	変更前文章	変更後文章
57		妙感寺には当時の供養塔が今も伝わっています。	妙感寺には当時の供養塔**(くようとう)**が今も伝わっています。
58		本市では、妙感寺流れが発生した10 月９日を湖南市防災の日として条例で定めており、市民に対し災害の歴史を継承し、防災意識を定めることとしています。	本市では、妙感寺流れが発生した10 月９日を湖南市防災の日として条例で定めており、市民に対し災害の歴史を継承し、防災意識を定めることとしています。
59	②地震	滋賀県周辺における主な活断層は、琵琶湖西岸断層帯、鈴鹿西縁断層帯、三方・花折断層帯、湖北山地断層帯、野坂・集福寺断層帯、柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯、頓宮断層、木津川断層帯があり、また本市周辺でも大小様々な数多くの断層が確認されています。	**滋賀県内には琵琶湖(びわこ)西岸(せいがん)断層帯(だんそうたい)や鈴鹿西(すずかせい)縁断層帯(えんだんそうたい)など多くの活断層が確認されています。本市周辺では信楽断層や大鳥居断層等が活断層であると推定されているほか、大小様々な数多くの断層が確認されています。**
60		今後、西日本を中心に想定されている南海トラフ地震を含め本市の震災に対する検討が必要であり、そのため『湖南市地域防災計画』ではこれら震災に対する対応が示されています。	**本市において発生することが想定される大規模な地震災害のうち、被害が最も大きく、発生確率が高いものは南海トラフ巨大地震で、本市域での想定震度も6強となっています。**

番号	項目	変更前文章	変更後文章
第1章　湖南市の概要 1．自然的・地理的環境 （5）動植物			
61		山地に囲まれた本市は、市面積 70.4 ㎢のうち森林面積は 36.45 ㎢、市面積の 52%が森林区域となっています。	山地に囲まれた本市は、市面積 70.4 ㎢のうち森林面積は 36.45 ㎢あり、市面積の 52%が森林区域となっています。
62		森林面積のすべてが民有林で、人工林率は 45%です。人工林のほとんどはスギ・ヒノキで、天然林はアカマツが比較的多く、また森林面積の 78%が保安林に指定されています。	森林面積のすべてが民有林で、人工林率は 45%です。人工林のほとんどはスギ・ヒノキで、天然林はアカマツが比較的多く、また森林面積の 78%が保安林に指定されています。
63		山の麓にある里山では、木が病気や虫にやられて枯れてしまう「マツ枯れ」や「ナラ枯れ」が起きています。	山の麓にある里山では、木が病気や虫により枯れてしまう「マツ枯れ」や「ナラ枯れ」が起きています。
64		そのため、地面をしっかり支える力が弱くなっています。また、イノシシやシカなどの動物による被害も出ています。	そのため、地面をしっかり支える力が弱くなっています。また、イノシシやシカなどの動物による被害も出ています。

番号	項目	変更前文章	変更後文章
65		本市の植生の内、本市らしさを構成する文化財に国天然記念物平松のウツクシマツ自生地があります。	本市の植生の内、本市らしさを構成する文化財に国天然記念物平松のウツクシマツ自生地があります。
66		この自生地は江戸時代の浮世絵等にも描かれ古くから全国的にも知られた場所です。	この自生地は江戸時代の浮世絵等にも描かれ古くから全国的にも知られた場所です。
67		管理団体である本市では令和3年（2021）10 月に『国指定天然記念物平松のウツクシマツ自生地保存活用計画』を策定し、ウツクシマツの保全管理を進めています。	管理団体である本市では令和3年（2021）10 月に『国指定天然記念物平松のウツクシマツ自生地保存活用計画』を策定し、ウツクシマツの保全管理を進めています。
68		本市では、阿星山や岩根山などの山系から市街地周辺の水田・里山、野洲川までに多様な自然環境が見られ、	本市では、阿星山**(あぼしやま)**や岩根山**(いわねやま)**などの山系から市街地周辺の水田・里山、野洲川までに多様な自然環境が見られ、
69		山間地にはハチクマやオオタカ、里山にはスズメやノウサギ、河川にはコイやフナ、アユ等が生息しています。	山間地にはハチクマやオオタカ、里山にはスズメやノウサギ、河川にはコイやフナ、アユ等が生息しています。

番号	項目	変更前文章	変更後文章
70		しかし、平松のウツクシマツ自生地ではニホンジカやウサギによるとみられるウツクシマツの食害が発生しており	しかし、平松のウツクシマツ自生地ではニホンジカやウサギによるとみられるウツクシマツの食害が発生しており、
71		ウツクシマツが自然に育つことが難しい状況となっています。	ウツクシマツが自然に育つことが難しい状況となっています。
72		また、野洲川でも近年ブラックバス等の外来魚類の棲息が報告されており、	また、野洲川**(やすがわ)**でも近年ブラックバス等の外来魚類の棲息**(せいそく)**が報告されています。
第1章　湖南市の概要 ２. 社会的状況 （1）市の沿革			
73		江戸時代中期に膳所（ぜぜ）藩主の本多康（やすとし）の命を受けて藩士の寒川（さむかわ）辰清（たつきよ）が編さんした『近江（おうみ）輿地（よち）志（し）略（りゃく）』によると、本市は甲賀郡の檜物（ひものの）荘（しょう）に属し、近世には 14 の村に分かれていました。	**明治5年（1872）の大区小区制施行や同 11 年（1878）の郡区町村編制法制定、同 21 年（1888）の市制・町村制公布により、明治 22 年（1889）に石部村（いしべむら）・三雲村（みくもむら）・岩根村（いわねむら）が成立し、甲賀郡第二区より下田村（しもだむら）が独立しています。さらに明**

番号	項目	変更前文章	変更後文章
			治 36 年（1903）には石部村が石部町（いしべちょう）になりました。
74		明治5年（1872）の大区小区制施行や同 11 年（1878）の郡区町村編制法制定、同 21 年（1888）の市制・町村制公布により、明治 22 年（1889）に石部村・三雲村・岩根村が成立し、甲賀郡第二区より下田村が独立しています。さらに明治 36 年（1903）には石部村が石部町になりました。	**昭和 30 年（1955）には、三雲村、岩根村が合併し甲西町（こうせいちょう）となり、さらに昭和 33 年（1958）に下田村が甲西町と合併しました。**
75		昭和 30 年（1955）には、三雲村、岩根村、下田村が合併し甲西町となり、さらに昭和 33 年（1958）に下田村が甲西町と合併しました。そして平成 16 年（2004）10 月 1 日、石部町と甲西町が合併し現在の湖南市が発足しました。	そして平成 16 年（2004）10 月 1 日、石部町と甲西町が合併し現在の湖南市が発足しました。

第1章　湖南市の概要

２. 社会的状況

（2）地域区分

番号	項目	変更前文章	変更後文章
76		本市は、旧町村の範囲を中心とした石部地域、石部南地域、三雲地域、菩提寺地域、岩根地域、水戸地域、下田地域の7つの地域に区分され、それぞれの地域に地域まちづくり協議会を設置しています。このまちづくり協議会は地域課題の解決やまちづくりに向けた取組を進める組織であり、本計画で示す文化財の保存・活用に向けた取組の重要な活動・支援組織といえます。	本市は、旧町村の範囲を中心とした石部（**いしべ**）地域、石部南地域、三雲（**みくも**）地域、菩提寺（**ぼだいじ**）地域、岩根（**いわね**）地域、水戸（**みと**）地域、下田（**しもだ**）地域の **7 つ**の地域に区分され、それぞれの地域に地域まちづくり協議会を設置しています。このまちづくり協議会は地域課題の解決やまちづくりに向けた取組を進める組織であり、本計画で示す文化財の保存・活用に向けた取組の重要な活動・支援組織といえます。
77			**『湖南市都市計画マスタープラン』にて地域別まちづくり構想を掲げており、地域が一体となって身近なまちづくり活動に取り組むための基礎的な指針として、また、まちづくり協議会などの事業計画のたたき台として活用されることを想定しています。**
78		地域ごとに本文で説明	表にしてまとめる（表5）

第1章　湖南市の概要

2. 社会的状況

番号	項目	変更前文章	変更後文章
（3）人口動態			
79		本市の令和8年（2026）8月時点の人口は○人です。年齢別の人口をみると、15 歳未満および 15～64 歳以上の人口の割合が年々減少傾向にあり、一方で 65 歳以上の人口の割合は増加傾向にあります。	本市の令和8年（2026）8月時点の人口は○人です。年齢別の人口をみると、15 歳未満および 15～64 歳以上の人口の割合が年々減少傾向にあり、一方で 65 歳以上の人口の割合は増加傾向にあります。
80		国立社会保障・人口問題研究所による推計結果では今後も人口減少が続き、令和 32 年（2050）には 43,633 人程度になると予測されています。	国立社会保障・人口問題研究所による推計結果では今後も人口減少が続き、令和 32 年（2050）には 43,633 人程度になると予測されています。
81		一方、外国人人口は令和4年（2022）12 月時点で 3,508 人を数え、増加傾向にあります。特に水戸地域が最も多く、人口の2割程度を占めています。	一方、外国人人口は令和4年（2022）12 月時点で 3,508 人を数え、増加傾向にあります。特に水戸(みと)地域が最も多く、人口の2割程度を占めています。
第1章　湖南市の概要 2. 社会的状況 （4）交通			

番号	項目	変更前文章	変更後文章
82		本市は古代より西国、京・伊勢・東海・東国を結ぶ交通の要衝地でした。『正倉院文書』には、石山寺造営のために三雲川津に集積した木材を野洲川から運んだ記録があり、野洲川は重要な内陸水運路であったことが分かります。	本市は古代より西国、京・伊勢（**いせ**）・東海・東国を結ぶ交通の要衝地でした。**天智天皇6年（667）には古代東海道が通り、延暦3年（784）以降は東海・東山（とうさん）・北陸の3官道が本市を通りました。**
83		石部駅家は、京から伊勢への宿場として利用され、長治2年（1105）には源雅実が宿泊したという記録があります。	**江戸時代には石部宿（いしべしゅく）や三雲（みくも）・夏見（なつみ）の一里塚（いちりづか）が整備され、石部宿は東海道五十三次（ごじゅうさんつぎ）の 51 番目の宿駅地（しゅくえきち）としてにぎわいました。**
84		慶長6年（1601）の徳川家康の五街道整備により、石部宿や三雲・夏見の一里塚が整備され、石部宿は東海道五十三次の 51 番目の宿駅地としてにぎわいました。	**現在は、中央自動車道西宮（にしのみや）線（名神高速道路のこと。以下、「名神高速道路」といいます。）や国道1号、JR 草津（くさつ）線が整備されています。**
85		現在は、昭和 36 年（1961）に開通した中央自動車道西宮線（名神高速道路のこと。以下、	**市内には JR 草津線の駅が石部駅と甲西駅、三雲駅と3駅あり、各駅から市営のコミュニティバス「めぐるくん」で各地域への移動が可能です。**

番号	項目	変更前文章	変更後文章
86		名神高速道路の菩提寺パーキングエリアには高速バスの停留所が設置されており、京都－名古屋間を運行する高速バスの一部が停車することから、名古屋方面や京都方面の移動の利便性が高まっています。	名神高速道路の菩提寺（**ぼだいじ**）パーキングエリアには高速バスの停留所が設置されており、京都－名古屋間を運行する高速バスの一部が停車することから、名古屋方面や京都方面の移動の利便性が高まっています。
第1章　湖南市の概要 2. 社会的状況 （5）産業			
87		本市の産業別就業人口の割合は、令和2年（2020）時点で第1次産業が 1.4%と非常に低く、第2次産業が 43.3%、第3次産業が 55.4%となっています。	本市の産業別就業人口の割合は、令和2年（2020）時点で第1次産業が 1.4%と非常に低く、第2次産業が 43.3%、第3次産業が 55.4%となっています。
88		本市は水と緑に囲まれた自然環境豊かな地域で、古くから街道を中心とした産業や文化が栄えてきました。	本市は水と緑に囲まれた自然環境豊かな地域で、古くから街道を中心とした産業や文化が栄えてきました。
89		昭和 40 年（1965）の名神高速道路の開通に伴い、有利な立地条件を利用して県内最大の湖南工業団	昭和 40 年（1965）の名神高速道路の開通に伴い、有利な立地条件を利用して県内最大の湖南工業団地

番号	項目	変更前文章	変更後文章
		地が造成され、ものづくり産業が集積されていきました。	が造成され、ものづくり産業が集積されていきました。
90		製造業以外に農業や商業も本市の経済を支えています。農業では下田なす、弥へいとうがらし、朝国しょうが、サトイモ、東寺献上ごぼうが伝統野菜として作られてきました。	製造業以外に農業や商業も本市の経済を支えています。農業では下田**(しもだ)**なす、弥平**(やへい)**とうがらし、朝国**(あさくに)**しょうが、サトイモ、東寺**(ひがしてら)**献上**(けんじょう)**ごぼうが伝統野菜として作られてきました。
91		現在、これらの野菜を後世に継承するため、各地域でプロジェクトや新たな商品開発等が行われています。	現在、これらの野菜を後世に継承するため、各地域でプロジェクトが行われています。
92		一方、本市の過去の産業に江戸時代から明治時代にかけて石部宿近郊で行なわれた石灰の製造があります。	一方、本市の過去の産業に江戸時代に始まった産業に下田焼（**しもだやき**）と正藍染（**しょうあいぞめ**）があります。
93		下田焼は幕末から明治前期にかけて登り窯3基、窯元十数戸が操業していましたが、信楽焼に押され衰退し、現在は窯元1件が火を守っています。	下田焼は幕末から明治前期にかけて登り窯3基、窯元十数戸が操業していましたが、信楽**(しがらき)**焼に押され衰退し、現在は窯元1件が火を守っています。

番号	項目	変更前文章	変更後文章
94		正愛染は江戸時代中期に京都より伝わり、近年まで一軒の工房で伝統技術が守られ続けていましたが、令和7年（2025）3月に廃業されました。	正藍染は江戸時代中期に京都より伝わり、近年まで一軒の工房で伝統技術が守られ続けていましたが、令和7年（2025）3月に廃業されました。
第1章　湖南市の概要 2. 社会的状況 （6）観光			
95		本市には国宝の建造物や重要文化財の仏像等を保存・継承している常楽寺（じょうらくじ）や長壽寺（ちょうじゅじ）、善水寺（ぜんすいじ）などの名刹めいさつ	本市には国宝の建造物や重要文化財の仏像等を保存・継承している常楽寺（**じょうらくじ**）や長壽寺（**ちょうじゅじ**）、善水寺（**ぜんすいじ**）などの古刹（**こさつ**）をはじめとして、
96		浮世絵等に描かれ旅人も関心を持った国天然記念物平松のウツクシマツ自生地や江戸時代の街並み景観がたどれる石部宿等、多くの歴史や自然に関する文化財があります。	浮世絵等に描かれ旅人も関心を持った国天然記念物平松のウツクシマツ自生地や江戸時代の街並み景観がたどれる石部宿（**いしべしゅく**）等、多くの歴史や自然に関する文化財があります。
97		また、花の寺と磨ま崖仏がいぶつめぐりや湖南三山紅葉めぐりといっ	また、花の寺と磨崖仏（**まがいぶつ**）めぐりや湖南三山（**こなんさんざん**）紅葉めぐりといったイベントなどもあ

番号	項目	変更前文章	変更後文章
		たイベントなどもあり、多彩な観光資源に恵まれています。	り、多彩な観光資源に恵まれています。
98		一方、本市の観光入込客数は毎年600,000 人程度で滋賀県内の市町村の中でも観光客が少ない傾向にあります。	一方、本市の観光入込客数は毎年600,000 人程度で滋賀県内の市町村の中でも観光客が少ない傾向にあります。
99		観光入込客数を増加させるため、本市にある多彩な観光資源を活かした取り組みを推進することが求められています。	観光入込客数を増加させるため、本市にある多彩な観光資源を活かした取組を推進することが求められています。
第1章　湖南市の概要 ２. 社会的状況 （7）文化財関連施設			
100		本市の文化財関連施設には、石部宿場の里と湖南市立東海道石部宿歴史民俗資料館、菩提寺歴史文化資料室があります。	本市の文化財関連施設には、石部宿場**(いしべしゅくば)**の里**(さと)**と湖南市立東海道石部宿歴史民俗資料館（以下、**「歴史民俗資料館」といいます。）、菩提寺(ぼだいじ)歴史文化資料室**があります。

番号	項目	変更前文章	変更後文章
101		石部宿場の里では再現建築物や資料を用いて石部宿を紹介しています。また、明治時代に 性学という思想が石部村に入ってきますが、その修業の場として石部村の人々によって設立された八石教会所の再現建築物もあります。	石部宿場**(いしべしゅくば)**の里**(さと)**では再現建築物や資料を用いて石部宿を紹介しています。また、明治時代に 性学**(せいがく)**という思想が石部村**(いしべむら)**に入ってきますが、その修業の場として石部村の人々によって設立された八石**(はっこく)**教会所**(きょうかいじょ)**の再現建築物もあります。
102		湖南市立東海道石部宿歴史民俗資料館では東海道五十三次図をはじめ、大名の網代駕籠や関札、宿帳など宿場町の歴史資料を展示しています。また、絵図などを手がかりに 20 分の 1で復元した小島本陣の模型も展示しています。	**歴史民俗資料館**では**東海道五十三次(ごじゅうさんつぎ)図をはじめ、大名の網代(あじろ)駕籠(かご)や関札(せきふだ)**、宿帳など宿場町の歴史資料を展示しています。また、絵図などを手がかりに 20 分の1で復元した小島**(こじま)**本陣**(ほんじん)**の模型も展示しています。
103		菩提寺歴史文化資料室は平成 27 年（2015）4月に菩提寺まちづくりセンターの開館と同時にセンターの中に置かれた資料室です。古墳時代から近世までのそれぞれの時代における歴史や当時の人々の暮らしぶりなどが伝わるような展示を心がけています。	**菩提寺(ぼだいじ)歴史文化資料室**は平成 27 年（2015）4月に菩提寺まちづくりセンターの開館と同時にセンターの中に置かれた資料室です。古墳時代から近世までのそれぞれの時代における歴史や当時の人々の暮らしぶりなどが伝わるような展示を心がけています。

番号	項目	変更前文章	変更後文章
104		そのほか、石部地域には往時の田楽茶屋を再現した石部宿田楽茶屋があり、郷土食のいもつぶしを提供しています。ほかにもこころの街角サロンいしべ宿駅があり、休憩や会合の場を提供しています。	そのほか、石部**(いしべ)**地域には往時の田楽**(でんがく)**茶屋**(ちゃや)を**再現した石部宿**(いしべしゅく)**田楽茶屋があり、郷土食の**いもつぶし**を提供しています。ほかにもこころの街角サロンいしべ宿駅があり、休憩や会合の場を提供しています。
第1章　湖南市の概要 ３. 歴史的環境			
105	有史以前	本市の有史以前の人々の活動は現時点で不明です。	本市の有史以前の人々の活動は現時点で不明です。
106	有史以前	なお、野洲川河床の古琵琶湖層より、昭和 63 年（1988）に長鼻類（ゾウ）と偶蹄類（シカ）の足跡化石と埋没樹痕が大量に発見され発掘調査が行われました。	なお、野洲川**(やすがわ)**河床の古琵琶湖層**(こびわこそう)**より、昭和 63 年（1988）に長鼻類**(ちょうびるい)**（ゾウ）と偶蹄類**(ぐうているい)**（シカ）の足跡化石と埋没樹**(まいぼつじゅ)**痕**(こん)**が大量に発見され発掘調査が行われました。

番号	項目	変更前文章	変更後文章
107	有史以前	その結果、足跡が残されたこの場所は古琵琶湖周辺の湿地に近い地形であったことが分かっています。	その結果、足跡が残されたこの場所は古琵琶湖周辺の湿地に近い地形であったことが分かっています。
108	原始	本市の人々の活動の歴史は、縄文時代から始まっていると考えられます。	本市の人々の活動の歴史は、縄文時代から始まっていると考えられます。
109	原始	しかし、縄文時代の遺跡には井戸遺跡（三雲地域）が、また弥生時代の遺跡には尊光寺遺跡（三雲地域）がありますが、当時の人々の具体的な生活像は必ずしも明確になっていません。	しかし、縄文時代の遺跡には井戸遺跡（三雲**(みくも)**地域）が、また弥生時代の遺跡には尊光寺**(そんこうじ)**遺跡（三雲地域）がありますが、当時の人々の具体的な生活像は必ずしも明確になっていません。
110	原始	一方、本市での人の営みが明確になってくるのは古墳時代からです。古墳時代の本市は、野洲川の中流に広がる沖積平野で農耕生活が定着し、土地占有を巡る争いが行われる中で有力な指導者が誕生したと考えられます。	一方、本市での人の営みが明確になってくるのは古墳時代からです。古墳時代の本市は、野洲川**(やすがわ)**の中流に広がる沖積**(ちゅうせき)**平野で農耕生活が定着し、土地占有を巡る争いが行われる中で有力な指導者が誕生したと考えられます。

番号	項目	変更前文章	変更後文章
111	原始	古墳時代中期の5世紀前半には宮の森古墳（石部地域）が築造され、同墳を中心に政治的なまとまりが形成されたと考えられています。	古墳時代中期の 5世紀前半 には宮の森古墳（石部**(いしべ)**地域）が築造され、同墳を中心に政治的なまとまりが形成されたと考えられています。
112	原始	古墳時代後半に入ると、市内に群集墳と呼ばれる古墳が多く築かれるようになります。群集墳には六反古墳群（石部南地域）・柿ケ沢古墳（石部地域）・狐栗古墳群（三雲地域）などがあり、これらの古墳群からは鉄斧や槍状鉄器、銀製空玉や鉄釘、鉄鏃、青銅芯金環、青銅製小仏像等の遺物が出土したことから、この地域には大きな力を持つ集団がいたことが推察されます。	古墳時代後半に入ると、市内に群集墳と呼ばれる古墳が多く築かれるようになります。群集墳には六反**(ろくたん)**古墳群（石部**(いしべ)**南地域）・柿ケ沢**(かきがさわ)**古墳（石部地域）・狐栗**(きつねくり)**古墳群（三雲**(みくも)**地域）などがあり、これらの古墳群からは鉄斧**(てっぷ)**や槍**(やり)**状鉄器、銀製空玉**(うつろだま)**や鉄釘、鉄鏃**(てつぞく)**、青銅**(せいどう)**芯**(しん)**金環**(きんかん)**、青銅製小仏**(こぼとけ)**像等の遺物が出土したことから、この地域には大きな力を持つ集団がいたことが推察されます。
113	古代	本市は『大宝律令』（大宝元年（701）制定）により設置された甲賀郡に属し、老上・夏見・山直・蔵部の4郷のうち、夏見郷および老上郷に属していたと考えられています。	本市は『大宝**(たいほう)**律令**(りつりょう)**』（大宝元年（701）制定）により設置された甲賀郡**(こうかぐん)**に属し、老上**(おほかみ)**・夏見**(なつみ)**・山直**(やまなほ)**・蔵部**(くらふ)**の4郷のうち、夏見郷および老上郷に属していたと考えられています。

番号	項目	変更前文章	変更後文章
114	古代	天平5年（733）、金勝山（栗東市）に聖武天皇勅願寺の金勝寺が創建され、以後金勝寺が琵琶湖南部の仏教中心地となると、金勝山の背後に位置する本市でも和銅寺や常楽寺、長壽寺が創建されました。	天平5年（733）、金勝山**(こんぜやま)**（栗東市**(りっとうし)**）に聖武**(しょうむ)**天皇勅願寺**(ちょくがんじ)**の金勝寺**(こんしょうじ)**が創建され、以後金勝寺が琵琶湖**(びわこ)**南部の仏教中心地となると、金勝山の背後に位置する本市でも和銅寺**(わどうじ)**（岩根**(いわね)**地域）や常楽寺**(じょうらくじ)**（石部**(いしべ)**南地域）、長壽寺**(ちょうじゅじ)**（石部南地域）が創建されました。
115	古代	このうち和銅寺は延暦9年（790）に伝教大師が善水寺として中興しましたが、これら3寺は現在「湖南三山」として本市の重要な観光資源となっているほか、今日まで1,200 年以上法灯が守られ続けている県内有数の古刹として重要です。	このうち和銅寺は延暦9年（790）に伝教大師**(でんぎょうだいし)**が善水寺**(ぜんすいじ)**（岩根地域）として中興**(ちゅうこう)**しました。これら3寺は現在湖南**(こなん)**三山**(さんざん)**として本市の重要な観光資源となっているほか、今日まで 1,200 年以上 法灯**(ほうとう)**が守られ続けている県内有数の古刹**(こさつ)**として重要です。
116	古代	その他、阿星山にある竜王社（三雲地域）では現在も五穀豊穣を祈願する雨乞い行事が行われ、また旧石部町には式内社の石部鹿塩上神社が存在し、その後吉姫神社や吉御子神社 となりました。	『正倉院**(しょうそういん)**文書**(もんじょ)**』によると、天平宝字**5～6年（761～762）**に保良宮**(ほらのみや)**の近くに石山院**(せきざんいん)**（現在の石山寺、大津市）が造営されたが、その造営に必要な木材を三雲川津**(みくもかわつ)**に集積し、野

番号	項目	変更前文章	変更後文章
			洲川**(やすがわ)**から運んだとあります。このことから、野洲川は古代から重要な内陸水運路であったことが分かります。
117	社	このように本市でみられる寺院や宗教的活動は古代に遡るものが多くあります。	天智天皇6年（667）には古代東海道が通り、延暦3年（784）以降は東海・東山・北陸の3官道が本市を通りました。石部駅家**(いしべうまや)**は、京から伊勢**(いせ)**への宿場として利用され、長治2年（1105）には源**(みなもとの)**雅実**(まさざね)**が宿泊したという記録があります。
118	中世	平安時代、本市域は檜物荘と呼ばれる藤原氏の寄進系荘園となり、さらに平安時代中期には高陽院に属し、保元元年（1156）に起きた保元の乱以後は近衛家の家領となりました。	平安時代、本市域は檜物荘（**ひものしょう**）と呼ばれる藤原氏の寄進系**(きしんけい)**荘園**(しょうえん)**となり、さらに平安時代中期には高陽院**(かやのいん)**に属し、保元元年（1156）に起きた保元**(ほうげん)**の乱以後は近衛家**(このえけ)**の家領**(けりょう)**となりました。
119	中世	近衛家はその一部を少菩提寺や常楽寺、長壽寺、善水寺等の寺院に寄進し、鎌倉・室町時代を通じて同荘を治めました。	近衛家はその一部を少菩提寺**(しょうぼだいじ)**や常楽寺**(じょうらくじ)**、長壽寺**(ちょうじゅじ)**、善水寺**(ぜんすいじ)**等の寺院に寄進し、鎌倉・室町時代を通じて同荘を治めました。

番号	項目	変更前文章	変更後文章
120	中世	鎌倉時代に武家政権が成立すると、佐々木氏が守護となり近江国を統治しました。	鎌倉時代に武家政権が成立すると、佐々木氏が守護となり近江国**(おうみこく)**を統治しました。
121	中世	その後佐々木氏は京極・六角・大原・高島の四家に分かれ、そのうち本市は六角氏が治めました。	その後佐々木氏は京極**(きょうごく)**・六角**(ろっかく)**・大原**(おおはら)**・高島**(たかしま)**の 4家 に分かれ、そのうち本市は六角氏が治めました。
122	中世	室町時代に6代将軍の足利義尚が六角征伐を行いましたが甲賀武士の活躍により失敗に終わりました。	室町時代に 6代将軍 の足利**(あしかが)**義尚**(よしひさ)**が六角**(ろっかく)**征伐**(せいばつ)**を行いましたが、甲賀**(こうか)**武士**(ぶし)**の活躍により失敗に終わりました。
123	中世	なお、六角征伐で活躍した甲賀武士たちは、相互の結束と安全のため地侍たちの連合である甲賀郡中惣を形成し、市内では夏見や柑子袋、岩根で地侍を中心とした惣が組織されました。	なお、六角征伐で活躍した甲賀武士たちは、相互の結束と安全のため地侍**(じざむらい)**たちの連合である甲賀郡中惣**(ぐんちゅうそう)**を形成し、市内では夏見**(なつみ)**や柑子袋**(こうぶくろ)**、岩根**(いわね)**で地侍を中心とした惣**(そう)**が組織されました。
124	中世	これらの惣は、野洲川・杣川の水利や山林問題、安全・経済的利害	これらの惣は、野洲川**(やすがわ)**・杣川**(そまがわ)**の水利や山林問題、安全・経済的利害にともなう案件を

番号	項目	変更前文章	変更後文章
		にともなう案件を調停する自治組織として機能しました。	調停する自治組織として機能しました。
125	中世	市内には、惣を組織・運営した地侍の活動拠点となった三雲城（三雲地域）、丸岡城（三雲地域）、針氏城邸（三雲地域）、夏見氏邸（三雲地域）などが伝えられています。	市内には、惣を組織・運営した地侍の活動拠点となった三雲城**(みくもじょう)**（三雲**(みくも)**地域）、丸岡城**(まるおかじょう)**（三雲地域）、針氏**(はりし)**城(邸**(じょうてい)**（三雲地域）、夏見氏**(なつみし)**邸(**てい**)（三雲地域）などが伝えられています。
126	近世	本市を含む琵琶湖東部を治めた六角氏は、足利義昭を擁して上洛する織田信長と争いましたが、天正２年（1574）に六角義貞が信楽に逃避し、六角氏による近江国の支配は終わりました。	本市を含む琵琶湖**(びわこ)**東部を治めた六角**(ろっかく)**氏は、足利**(あしかが)**義昭**(よしあき)**を擁**(よう)**して上洛する織田信長と争いましたが、天正２年（1574）に六角**(ろっかく)**義貞**(よしさだ)**が信楽**(しがらき)**に逃避し、六角氏による近江国**(おうみこく)**国の支配は終わりました。
127	近世	信長の死後、本市は豊臣秀吉により旧石部町域を徳川家康、旧甲西町域を浅野長政が治めました。	信長の死後、本市は豊臣秀吉により旧石部町域**(いしべちょういき)**を徳川家康、旧甲西町域**(こうせいちょういき)**を浅野長政**(ながまさ)**が治めました。

番号	項目	変更前文章	変更後文章
128	近世	関ヶ原の戦い後、本市域の大部分は天領もしくは徳川譜代大名領地となりました。	関ヶ原の戦い後、本市域の大部分は天領**(てんりょう)**もしくは徳川譜代**(ふだい)**大名領地となりました。
129	近世	旧石部町域は、石部村が幕府領、東寺村及び西寺村が膳所藩領となり、後に東寺村と西寺村は幕府直轄領となっています。また柑子袋の上葦穂神社境内には、柑子	旧石部町域**(いしべちょういき)**は、石部村**(いしべむら)**が幕府領、東寺村**(ひがしてらむら)**及び西寺村**(にしてらむら)**が膳所**(ぜぜ)**藩領となり、後に東寺村と西寺村は幕府直轄領となっています。また柑子袋**(こうじぶくろ)**の上葦穂**(かしほ)**神社境内には、柑子
130	近世	が東淀(ひがしよど)領であったことを示す領示石が残っており、当時の土地支配の様相が分かります。	が東淀**(ひがしよど)**領であったことを示す領示石が残っており、当時の土地支配の様相が分かります。
131	近世	慶長6年（1601）、徳川家康の五街道整備によって、古代から交通の要衝地であった本市には石部宿が整備され、宿内に小島本陣や三大寺本陣、人馬継立所などが置かれました。	**慶長6年（1601）、徳川家康の五街道整備によって、古代から交通の要衝地であった本市には石部宿が整備され、宿内に小島本陣や三大寺本陣、人馬継立所などが置かれました。
132	近世	天保 14 年（1843）の『宿村大概帳』によれば、石部宿内には本陣2軒、旅籠 32 軒を含む 458 軒が建	天保 14 年（1843）の『宿村大概帳**(しゅくそんたいがいちょう)**』によれば、石部宿**(いしべしゅく)**内には本陣

番号	項目	変更前文章	変更後文章
		ち並び、宿の中央には問屋場と高札場がありました。	2軒、旅籠**(はたご)**32 軒を含む 458 軒が建ち並び、宿の中央には問屋場**(といやば)**と高札場**(こうさつば)**がありました。
133	近世	石部宿は京都からの一泊目の宿場町であり、多くの文人墨客が立ち寄りました。	石部宿は京都からの一泊目の宿場町**(しゅくばまち)**であり、多くの文人**(ぶんじん)**墨客**(ぼっきゃく)**が立ち寄りました。
134	近世	松尾芭蕉の『野ざらし紀行』や『桂川連理柵』、『丹波与作待夜の小室節』などの文芸作品に登場し、広く世に知られることになりました。	松尾芭蕉の『野ざらし紀行』や『桂川連理柵**(かつらがわれんりのしがらみ)**』、『丹波与作待夜**(たんばよさくまつよ)**の小室節**(こむろぶし)**』などの文芸作品に登場し、広く世に知られることになりました。
135	近世	芭蕉を敬慕する「石部躑躅社中」の活動も市内に確認でき、俳諧が盛行していたことが分かります。	芭蕉を敬慕(けいぼ)する「石部躑躅(つつじ)社中」の活動も市内に確認でき、俳諧(はいかい)が盛行していたことが分かります。
136	近世	江戸時代後期、石部宿の経済力を背景に新田開発が行われ、石灰製造や石部焼の製造も始まりました。	江戸時代後期、石部宿(いしべしゅく)の経済力を背景に新田開発(にゅうでんかいはつ)が行われ、石灰製造や石部焼の製造も始まりました。

番号	項目	変更前文章	変更後文章
137	近世	天保 13 年（1842）には三上騒動（甲賀騒動）と呼ばれる一揆が起こり、本市住民が一揆を援助しています。	天保 13 年（1842）には三上(みかみ)騒動(そうどう)（甲賀(こうか)騒動(そうどう)）と呼ばれる一揆が起こり、本市住民が一揆を援助しています。
138	近世	市内には一揆で人々の代わりに犠牲となった者たちを顕彰する碑が残っています。	市内には一揆で人々の代わりに犠牲となった者たちを顕彰(けんしょう)する碑が残っています。
139	近・現代	明治維新によって西洋文明の取り込み気運が全国的に高まると、県内でも様々な取組が行われました。	明治維新によって西洋文明の取り込み気運が全国的に高まると、県内でも様々な取組が行われました。
140	近・現代	本市に関係するものとして、石部村出身の藤谷九郎次が興した『琵琶湖新聞』があります。	本市に関係するものとして、石部村**(いしべむら)**出身の藤谷**(ふじたに)**九郎次**(きゅうろうじ)**が興した『琵琶湖**(びわこ)**新聞』があります。
141	近・現代	彼は大津船頭町（現大津市）に琵琶湖新聞会社を設立し、明治6年（1873）に『琵琶湖新聞』を県下2番目の新聞として創刊しました。	彼は大津(おおつ)船頭(せんどう)町（現大津市(おおつし)）に琵琶湖新聞会社を設立し、明治6年（1873）に『琵琶湖新聞』を県下2番目の新聞として創刊しました。

番号	項目	変更前文章	変更後文章
142	近・現代	また、京都・滋賀・三重の各府県の有志により関西鉄道会社が創設され、明治 20 年（1887）に草津－三雲間の運行が開始されました。	また、京都・滋賀・三重の各府県の有志により関西(かんぜい)鉄道会社が創設され、明治 22 年（1889）に草津(くさつ)－三(み)雲(くも)間の運行が開始されました。
143	近・現代	その際、その中間駅として石部駅が、終着駅として三雲駅が設けられました。	その際、その中間駅として石部(いしべ)駅が、終着駅として三雲駅が設けられました。
144	近・現代	その後、関西鉄道は米・石灰・肥料・食塩などの物資の輸送手段として利用され、地元産業の発展に大きく貢献しました。	その後、関西鉄道は米・石灰・肥料・食塩などの物資の輸送手段として利用され、地元産業の発展に大きく貢献しました。
145	近・現代	なお、明治 39 年（1906）に国有鉄道法が公布されると関西鉄道会社は買収され国鉄草津線となりました。	なお、明治 39 年（1906）に国有鉄道法が公布されると関西鉄道会社は買収され国鉄草津線となりました。
146	近・現代	太平洋戦争終了後、本市では農業復興とともに国鉄草津線の電化や国道1号の開通など地域経済基盤整備に取り組みました。	太平洋戦争終了後、本市では農業復興とともに国鉄草津(くさつ)線の電化や国道1号の開通など地域経済基盤整備に取り組みました。

番号	項目	変更前文章	変更後文章
147	近・現代	さらに教育環境の整備や石部町立歴史民俗資料館（現東海道石部宿歴史民俗資料館）の建設など、地域の歴史や文化の保存・普及に努めました。	さらに教育環境の整備や石部町立(いしべちょうりつ)歴史民俗資料館（現歴史民俗資料館）の建設など、地域の歴史や文化の保存・普及に努めました。
148	近・現代	平成 16 年（2004）に行政サービスの効率化と地域の一体化を目指し、旧石部町と旧甲西町が合併し湖南市となりました。	平成 16 年（2004）に行政サービスの効率化と地域の一体化を目指し、旧石部町(いしべちょう)と旧甲西町(こうせいちょう)が合併し湖南市となりました。
第2章　湖南市の文化財の概要 1．指定等文化財の概要			
149		本市には文化財保護法などに基づく指定等文化財が令和8年（2026）8月1日時点で合計 120 件あります。また内訳は国指定等 43 件、県指定 11 件、市指定 66 件です。	本市には文化財保護法などに基づく指定等文化財が令和8年（2026）8月1日時点で合計 120 件あります。また内訳は国指定等 43 件、県指定 11 件、市指定 66 件です。
150		類型・種別では、有形文化財が建造物 22 件、美術工芸品 91 件(絵画 16 件、彫刻 51 件、工芸品 16 件、書跡・典籍 6件、古文	類型・種別では、有形文化財が建造物 22 件、美術工芸品 91 件（絵画 16 件、彫刻 51 件、工芸品 16 件、書跡・典籍6件、古文書1件、歴史資

番号	項目	変更前文章	変更後文章
		書 1件、歴史資料 1件)であり、無形文化財が 1件、記念物が遺跡（史跡） 2件、動物、植物、地質鉱物（天然記念物） 4件です。	料1件）であり、無形文化財が1件、記念物が遺跡（史跡）2件、動物、植物、地質鉱物（天然記念物）4件です。
151		民俗文化財、文化的景観、伝統的建造物群、文化財の保存技術の指定等はありません。	民俗文化財、文化的景観、伝統的建造物群、文化財の保存技術の指定等はありません。
152		本市の指定等文化財は、寺社建造物、仏像彫刻が全体の半数を占めています。本市には「湖南三山」と呼ばれる常楽寺、長壽寺、善水寺をはじめとした多くの寺社が所在しており、市内の信仰に関する文化の豊かさを示しています。	本市の指定等文化財は、寺社建造物、仏像彫刻が全体の半数を占めています。本市には湖南(こなん)三山(さんざん)と呼ばれる常楽寺(じょうらくじ)、長壽寺(ちょうじゅじ)、善水寺(ぜんすいじ)をはじめとした多くの寺社が所在しており、市内の信仰に関する文化の豊かさを示しています。
153		なお、地域別では、岩根地域が 35 件 と最も多く、次いで三雲地域が 32 件、石部南地域が 29 件 と多くなっています。	なお、地域別では、岩根(いわね)地域が 35 件と最も多く、次いで三雲(みくも)地域が 32 件、石部(いしべ)南地域が 29 件と多くなっています。
154		湖南三山と呼ばれる寺社や東海道などの街道が所在する地域に指定	湖南(こなん)三山(さんざん)と呼ばれる寺社や東海道などの街道が所

番号	項目	変更前文章	変更後文章
		等文化財が多く所在しているといえます。	在する地域に指定等文化財が多く所在しているといえます。
155		表5　指定等文化財の件数内訳	表6　指定等文化財の件数内訳
156		2. 埋蔵文化財の概要	2. 埋蔵文化財の概要を1. 指定文化財の概要の続きに挿入
157		令和8年（2026）8月1日現在、本市には 71 件 の周知の埋蔵文化財包蔵地があります。	また、令和8年（2026）8月1日現在、本市には 71 件 の周知の埋蔵文化財包蔵地(ほうぞうち)があります。
158		その内訳は、社寺跡と城館跡が 22 件 で、次いで古墳、古墳群が 20 件 となっています。	その内訳は、社寺跡と城館跡が 22 件 で、次いで古墳、古墳群が 20 件 となっています。
159		このうち城館跡は中世の甲賀郡の自治組織である甲賀郡中惣の関係の中で、また寺社は常楽寺、長壽寺、善水寺など本市の信仰の歴史との関係の中で、さらに古墳は本市の古墳文化との関係の中で捉えられます。	このうち城館跡は中世の甲賀郡(こうかぐん)の自治組織である甲賀郡中惣(こうかぐんちゅうそう)の関係の中で、寺社は常楽寺(じょうらくじ)、長壽寺(ちょうじゅじ)、善水寺(ぜんすいじ)など本市の信仰の歴史との関係の中で、古墳は本市の古墳文化との関係の中で捉えられます。

番号	項目	変更前文章	変更後文章
160		本計画策定にあたって行った市内の文化財調査により、令和8年（2026）8月1日時点で 917 件 の未指定文化財の所在を確認しました。	本計画の作成にあたり、既往の調査や文献などから、令和8年（2026）8月1日時点で 916 件 の未指定文化財を確認しました。
161		その結果、三雲地域が 297 件 と最も多く、続いて 岩根地域の 219 件、石部南地域の 115 件、菩提寺地域の 104 件、下田地域 68 件、石部地域 45 件、水戸地域 9 件 となりました。	地域別にみると、三雲(みくも)地域が 300 件 と最も多く、続いて 岩根(いわね)地域 227 件、石部(いしべ)南地域 117 件、菩提寺(ぼだいじ)地域 105 件、下田(しもだ)地域 66 件、石部地域 57 件、水戸(みと)地域 12 件 となりました。
162			3. 地域ごとの文化財の特徴として項目を追加。
163	石部地域	石部南地域には建造物や歴史資料が多く、このうち地域内に所在する寺社に関する文化財が多くあります。また、かつての石部宿に関する歴史資料も多くあり、石部地域がかつて宿場町として栄えた歴史を知るうえで重要な文化財といえます。さらに、石部地域には豊富な地質鉱物が採れる産地がいくつかあり、江戸時代以降の採掘跡が今も各地に残っています。これらは、近	**指定等文化財では、古代に存在した式内社(しきないしゃ)の 石部鹿塩上(いそべかしおのかみ)神社の後身である 吉姫(よしひめ)神社や 吉御子(よしみこ)神社に関係する文化財が多いです。また、江戸時代後期に始まった 石部焼(いしべやき) も 2 件市指定 になっています。未指定文化財では、建造物や歴史資料が多く、このうち地域内に所在する寺社に関する文化財が多くあります。**

番号	項目	変更前文章	変更後文章
	石部地域	世から近代にかけての本市の産業の歴史を知るうえで貴重な文化財になります。	**また、小島本陣跡(こじまほんじんあと) をはじめとするかつての 石部宿(いしべしゅく) に関する歴史資料や遺跡も多くあり、**石部地域がかつて宿場町として栄えた歴史を知るうえで重要な文化財といえます。さらに、石部地域には豊富な地質鉱物が採れる産地がいくつかあり、江戸時代以降の採掘跡が今も各地に残っています。これらは、近世から近代にかけての本市の産業の歴史を知るうえで貴重な文化財になります。
164	石部南地域	石部南地域には建造物や歴史資料、無形の民俗文化財が多く、このうち湖南三山を構成する常楽寺、長壽寺に関する建造物や彫刻が多くあります。	**指定等文化財では、湖南三山を構成する常楽寺や長壽寺に所在する文化財がほとんどです。国の指定等を受けている文化財も多く、常楽寺本堂、常楽寺三重塔、長壽寺本堂は国宝になっています。**
165	石部南地域	また、石部地域と同様にかつての石部宿に関する宿帳や看板などの歴史資料も多くあります。さらに石部南地域には勧請縄吊り灰山や鬼走りなどの無形の民俗文化財が多く、寺社の祭礼や地域の行事が大切に守られてきたことが分かります。	**未指定文化財では、建造物や歴史資料、無形の民俗文化財が多く、指定等文化財と同様に常楽寺、長壽寺に関する建造物や彫刻が多くあります。さらに石部南地域には勧請縄吊りや鬼走りなどの無形の民俗文化財が多く、寺社の祭礼や地域の行事が大切に守られてきたことが分かります。**

番号	項目	変更前文章	変更後文章
166	三雲地域	三雲地域には建造物や彫刻、歴史資料が多く、このうち建造物で注目されるものとして大沙川隧道と由良谷川隧道があります。	**指定等文化財では、寺社に所在する文化財が多いです。また、県指定の三雲城跡をはじめ、中世の甲賀郡の自治組織である甲賀郡中惣に関係する文化財も多いです。**
167		これらは近代の本市の歴史を伝える重要な文化財です。	**そのほか、国指定の平松のウツクシマツ自生地や市指定の野洲川河原の足跡化石出土品など、他の地域と比べて自然に関係する文化財が多いことも特徴です。**
168	三雲地域	かつての地域の人々の信仰が伺える様々な彫刻や歴史資料、住民の生活に脅威を与えた災害に対する思いを示す砂防恩碑や造林恩碑、妙感寺流供養碑、さらに	**未指定文化財では、建造物や彫刻、歴史資料が多く、このうち建造物で注目されるものとして大沙川隧道と由良谷川隧道があります。また、隧道は撤去されてしまいましたがその存在を示す家棟川隧道扁額が残っています。**
169		江戸時代に盛行した俳諧の跡を示す亀渕先生落髪ノ墳や多くの芭蕉句碑、かつての野洲川の渡し場を示す三雲常夜灯など特徴的な文化財が多いです。	**これらは近代の本市の歴史を伝える重要な文化財です。そのほか、かつての地域の人々の信仰が伺える様々な彫刻や歴史資料、住民の生活に脅威を与えた災害に対する思いを示す砂防恩碑や造林恩碑、妙感寺流供養碑、**

番号	項目	変更前文章	変更後文章
170	三雲地域		さらに江戸時代に盛行した俳諧の跡を示す亀渕先生落髪ノ墳や多くの芭蕉句碑、かつての野洲川の渡し場を示す三雲常夜灯など特徴的な文化財が多いです。
171	菩提寺地域	菩提寺地域には建造物や歴史資料が多く、このうち花崗岩を使用した磨崖仏や小仏などの信仰に関する文化財、狐岩や鼻白岩などの地質鉱物が多くあります。	**指定等文化財では、寺社に所在する文化財がほとんどです。国指定史跡である廃少菩提寺（はいしょうぼだいじ）石多宝塔（せきたほうとう）および石仏（せきぶつ）をはじめ、市指定の紙本著色少菩提寺絵図**など廃寺となった**少菩提寺**に関係する文化財もあります。
172		また、廃寺となった少菩提寺に関係する文化財が多いことも特徴です。	**未指定文化財では、建造物や歴史資料が多く、このうち花崗岩（かこうがん）を使用した磨崖仏（まがいぶつ）や小仏（こぼとけ）などの信仰に関する文化財、狐岩（きつねいわ）や鼻（白岩（はなじろいわ）などの地質鉱物が多くあります。**
173		さらに、三雲地域や岩根地域と同様に自然災害に関する防砂竣工記念碑や砂防工事の完成の喜びの顕彰碑なども確認でき、他地域同様に河川氾濫などの土砂	**また、指定等文化財と同様に斎（神社（いつきじんじゃ）や西應寺（さいおうじ）など、少菩提寺（しょうぼだいじ）に関係する文化財が多いことも特徴です。さらに、**

番号	項目	変更前文章	変更後文章
	菩提寺地域	災害に苦しんだ地域の歴史を示す文化財が多いです。	**本市の治山や治水・利水対策などに貢献した龍池（たついけ）藤兵衛（とうべえ）氏や井上（いのうえ）嘉吉（かきち）氏の顕彰碑**なども確認でき、地域のために活躍した人物の功績に関する文化財から、**本市の発展の歴史を知ることができます。**
174	岩根地域	岩根地域には建造物や彫刻、歴史資料が多く、このうち湖南三山を構成する善水寺に関する建造物や彫刻が多くあります。	**指定等文化財では、湖南三山を構成する善水寺やそれ以外の寺社に所在する文化財がほとんどです。**
175		特に岩根山中に残る磨崖仏や小仏は、山中の豊富な花崗岩を用いて作られたものであり、古代から中世にかけての本市東部の仏教文化の展開を示すものといえます。	**未指定文化財では、建造物や彫刻、歴史資料が多く、このうち指定等文化財と同様に善水寺に関する建造物や彫刻が多くあります。特に岩根山中に残る磨崖仏や小仏は、山中の豊富な花崗岩を用いて作られたものであり、**
176		また、防災に対する洪水量点標は、三雲地域と同様に、かつての住民の防災への思いを示すものといえます。	**古代から中世にかけての本市東部の仏教文化の展開を示すものといえます。また、防災に対する洪水量点標は、三雲地域と同様に、かつての住民の防災への思いを示すものといえます。**

番号	項目	変更前文章	変更後文章
177	岩根地域	さらに歴史資料である道標も多く、これらは他の地域への誘導、善水寺参詣者への案内など、本市の交通の歴史を知るうえで重要です。	さらに歴史資料である道標も多く、これらは他の地域への誘導、善水寺参詣者への案内など、本市の交通の歴史を知るうえで重要です。
178	水戸地域	水戸地域は高度経済成長期に湖南工業団地が造成されたことで誕生した地域です。そのため未指定文化財はほとんど把握できませんでした。しかし、その中でもかつて茶釜川に掛かっていた橋の親柱は、本市の交通の歴史を知るうえで重要な文化財となっています。	水戸地域は高度経済成長期に湖南工業団地が造成されたことで誕生した地域です。**そのため指定等文化財はなく、**未指定文化財もほとんど把握できませんでした。しかし、**古くからため池としての役割を果たしてきたにごり池やかつて茶釜川に掛かっていた橋の親柱など、団地として造成される前の地域の歴史を伝える**重要な文化財が残っています。
179			**また、団地祭りや地蔵盆など、他地域の協力のもと、団地造成後に新しく創出された文化財があることも、この地域の大きな特徴です。**
180	下田地域	下田地域には歴史資料や無形の民俗文化財が多く、このうち明治時代以降に交通の便を良くするために造られた橋が多くありま	**指定等文化財では、日枝神社に関係する文化財が多いです。また、無形文化財として正藍染の技術保持者が市の認定を受けています。**

番号	項目	変更前文章	変更後文章
	下田地域	す。また、下田焼が誕生した地域であり、現在は行われていないものの、正藍染などの伝統工芸技術に関する文化財が残っています。さらに、下田なすや弥平とうがらしといった伝統野菜、やまじょうの漬物といった郷土料理は現在も下田地域の特産品として大切にされており、この地域の特徴を表す重要な食文化となっています。	**未指定文化財では、**歴史資料や無形の民俗文化財が多く、**このうち指定等文化財と同様に日枝神社に関係する文化財が多くあります。**また、下田焼が誕生した地域であり、現在は行われていないものの、正藍染などの伝統工芸技術に関する文化財が残っています。さらに、下田なすや弥平とうがらしといった伝統野菜、やまじょうの漬物といった郷土料理は現在も下田地域の特産品として大切にされており、この地域の特徴を表す重要な食文化となっています。**そのほか、明治時代以降に交通の便を良くするために造られた橋も多く残っています。**
第2章　湖南市の文化財の概要 4. 関連する制度の概要 （1）100 年フード			
181		「100 年フード」とは、文化庁が令和３年度（2021）に創設した食文化の認定制度です。本市では、「伝統の 100 年フード部門　江戸時代から続く郷土の料	「100 年フード」とは、文化庁が令和３年度（2021）に創設した食文化の認定制度です。本市では、「伝統の 100 年フード部門　江戸時代から続く郷土の料理」部門で

番号	項目	変更前文章	変更後文章
		理」部門で石部のいもつぶしが認定を受けています。	石部のいもつぶしが**令和５年度**（2023）に認定を受けています。
183		500 年以上前の江戸時代に東海道の 51 番目の宿場としておかれた石部宿（現：滋賀県湖南市）で、古くから庶民に親しまれてきたといわれる「いもつぶし」は、米が貴重とされていた頃、里芋を混ぜて食べられていた郷土料理です。皮をむき、ざっくりと切った里芋を米と一緒に炊き、つぶして俵型に丸め、みたらしのような濃厚なタレを塗り、香ばしく焼いた甘辛醤油味は誰もが好む逸品です。ほろ苦い味噌があと引く田楽味噌味は、お好みで山椒をかけると風味が変わり味噌ともよく合います。近年は旧東海道にある石部宿田楽茶屋で味わうことができたり、地元保存会がイベント時に販売されたりしています。石部の伝統食として愛されてきた食べ物なので、これからも伝統を絶やさずに伝え、たくさんの人に味わっていただきたいと思います。	500 年以上前の江戸時代に東海道の 51 番目の宿場としておかれた石部宿（現：滋賀県湖南市）で、古くから庶民に親しまれてきたといわれる「いもつぶし」は、米が貴重とされていた頃、里芋を混ぜて食べられていた郷土料理です。皮をむき、ざっくりと切った里芋を米と一緒に炊き、つぶして俵型に丸め、みたらしのような濃厚なタレを塗り、香ばしく焼いた甘辛醤油味は誰もが好む逸品です。ほろ苦い味噌があと引く田楽味噌味は、お好みで山椒をかけると風味が変わり味噌ともよく合います。近年は旧東海道にある石部宿田楽茶屋で味わうことができたり、地元保存会がイベント時に販売されたりしています。石部の伝統食として愛されてきた食べ物なので、これからも伝統を絶やさずに伝え、たくさんの人に味わっていただきたいと思います。
第３章. 湖南市の歴史文化の特徴			

番号	項目	変更前文章	変更後文章
184		第１章で述べた自然的・地理的環境、社会的状況、歴史的環境および第２章で述べた文化財の概要から、本市らしさである歴史文化の特性を次のように整理します。	第１章で述べた自然的・地理的環境、社会的状況、歴史的環境および第２章で述べた文化財の概要から、本市らしさである歴史文化の特性を次のように整理します。
185		①水と緑の歴史文化 ②神と仏の歴史文化 ③暮らしとまつりの歴史文化 ④街道がつなぐ歴史文化	**①水と緑―豊かな自然と災害の記憶** **②街道と交流―石部宿が織りなす街道の歴史と文化** **③神と仏―地域の信仰が支える文化の豊かさ** **④暮らしとまつり―地域に息づくまつりと文化の継承**
186	水と緑の歴史文化	①水と緑の歴史文化	①水と緑－ 豊かな自然と災害の記憶　案１ 野洲川を通じて見る自然の恵みと災害の記憶　案２
		本市は周囲を緑豊かな山系に囲まれ、また山間を縫うように野洲川をはじめとするいくつかの河川が中央部を流れる、水と緑	本市は周囲を緑豊かな山系に囲まれ、また山間を縫うように野洲川（**やすがわ**）をはじめとするいくつかの河川が中央部を流れる、水

番号	項目	変更前文章	変更後文章
	水と緑の歴史文化	が豊かな地となっています。野洲川の河床からはゾウやシカなどの足跡化石が複数見つかっていることから、本市には古くから動植物が生息していたことが分かります。	と緑が豊かな地となっています。野洲川の河床からはゾウやシカなどの足跡化石が複数見つかっていることから、本市には古くから動植物が生息していたことが分かります。
187		この豊かな自然の中で見られる景色は本市を訪れる人々の心を魅了し、伝承や詩句が生まれました。また、自然から得られる恵みを求めて、原始より人々は生活を行ってきました。	この豊かな自然の中で見られる景色は本市を訪れる人々の心を魅了し、伝承や詩句が生まれました。また、自然から得られる恵みを求めて、原始より人々は生活を行ってきました。
188		本市の豊かな自然を支える大地は様々な地層で構成され、これらの地層から得られる地質鉱物は本市の産業を支えてきました。	本市の豊かな自然を支える大地は様々な地層で構成され、これらの地層から得られる地質鉱物は本市の産業を支えてきました。
189		一方、豊かな自然は時に人々に脅威を与えてきました。宝暦年間には土石流が何度も発生し、特に大規模な土石流であった妙感寺流れは三雲地域に甚大な被害をもたらしました。	一方、豊かな自然は時に人々に脅威を与えてきました。宝暦年間には土石流が何度も発生し、特に大規模な土石流であった妙感寺（**みょうかんじ**）流れは三雲（**みくも**）地域に甚大（**じんだい**）な被害をもたらしました。

番号	項目	変更前文章	変更後文章
190		また、天井川を含む河川は降雨により洪水を起こすことがあり、各地域に何度も被害をもたらしました。各地に残る供養塔などの文化財は、災害に対する先人の記憶を今に伝えるものとなっています。	また、天井川（**てんじょうがわ**）を含む河川は降雨により洪水を起こすことがあり、各地域に何度も被害をもたらしました。各地に残る供養塔（**くようとう**）などの文化財は、災害に対する先人の記憶を今に伝えるものとなっています。
191	街道がつなぐ歴史文化	④街道がつなぐ歴史文化	②街道と交流－ 石部宿が織りなす街道の歴史と文化　案１ 街道が紡ぐ文化と人々のつながり　案２
192		本市は古代から東海道をはじめとする街道が通過する交通の要衝でした。	周囲を緑豊かな山系に囲まれた本市は古代から東海道をはじめとする街道が通過する交通の要衝でした。
193		天智天皇６年（667）に古代の東海道が通ると、京から伊勢に向かう道中で宿場として石部駅家が利用されました。	天智天皇６年（667）に古代の東海道が通ると、京から伊勢（**いせ**）に向かう道中で宿場として石部駅家（**いしべうまや**）が利用されました。

番号	項目	変更前文章	変更後文章
194	街道がつなく歴史文化	江戸時代に五街道が整備されると、東海道五十三次の51番目の宿駅地として石部宿が整えられ、夏見には立場が、各地には道標が設けられました。	江戸時代に五街道が整備されると、東海道五十三次(**ごじゅうさんつぎ**)の51番目の宿駅地(**しゅくえきち**)として石部宿(**いしべしゅく**)が整えられ、夏見(**なつみ**)には立場(**たてば**)が、各地には道標(**みちしるべ**)が設けられました。
195		多くの文人墨客が石部宿を訪れたとされ、文楽の舞台や俳人たちの活動の拠点になるなど、にぎわいました。	多くの文人(**ぶんじん**)墨客(**ぼっきゃく**)が石部宿を訪れたとされ、文楽の舞台や俳人たちの活動の拠点になるなど、にぎわいました。
196		今も残る文化財からは、当時の石部宿のにぎわいや人々の活躍を知ることができます。	今も残る文化財からは、当時の石部宿のにぎわいや人々の活躍を知ることができます。
197		また、本市の中央部を流れる野洲川も琵琶湖に通じる重要な水運路でした。	また、本市の中央部を流れる野洲川(**やすがわ**)も琵琶湖(**びわこ**)に通じる重要な水運路でした。
198	街道が	古代には石山寺造営のために三雲川津に集積した木材を運んだ記録があります。	古代には石山寺(**いしやまでら**)造営のために三雲(**みくも**)川津(**か**

番号	項目	変更前文章	変更後文章
	つなぐ歴史文化		**わつ**）に集積した木材を運んだ記録があります。
199		江戸時代には旅人の安全のため常夜灯が建てられるなど、重要な内陸水運路として利用されてきました。	江戸時代には旅人の安全のため常夜灯（**じょうやとう**）が建てられるなど、重要な内陸水運路として利用されてきました。
200		明治時代になると、交通の妨げになっていた天井川に隧道が設けられ、街道の利便性が高まりました。	明治時代になると、交通の妨げになっていた天井川（**てんじょうがわ**）に隧道（**ずいどう**）が設けられ、街道の利便性が高まりました。
201		大沙川隧道と由良谷川隧道は今も残され、人々の生活道として利用されています。	大沙川（**おおすながわ**）隧道と由良谷川（**ゆらたにがわ**）隧道は今も残され、人々の生活道として利用されています。
202	神と仏の歴史	②神と仏の歴史文化	③神と仏ー 地域の信仰が支える文化の豊かさ　案１ 湖南三山と信仰が形づくる地域の文化　案２

番号	項目	変更前文章	変更後文章
203	文化	豊かな水と緑に囲まれた本市には、自然に神の存在を感じ、仏教が伝えられると、神と仏をともに信仰する文化が生まれました。	豊かな水と緑に囲まれた本市には、自然に神の存在を感じ、仏教が伝えられると、神と仏をともに信仰する文化が生まれました。
204		湖南三山と呼ばれる常楽寺や長壽寺、善水寺は、古代から現在まで法灯が守られ続けている県内有数の古刹です。	湖南（**こなん**）三山（**さんざん**）と呼ばれる常楽寺（**じょうらくじ**）や長壽寺（**ちょうじゅじ**）、善水寺（**ぜんすいじ**）は、古代から現在まで法灯（**ほうとう**）が守られ続けている県内有数の古刹（**こさつ**）です。
206		三雲地域にある上葦穂神社や石部地域にある吉御子神社の歴史は古代に遡ることができます。	三雲（**みくも**）地域にある上葦穂（**かしほ**）神社や石部（**いしべ**）地域にある吉御子（**よしみこ**）神社の歴史は古代に遡ることができます。
207	神と仏の歴	菩提寺地域にある石多宝塔や閻魔像と地蔵菩薩は、かつてこの地にあったとされる少菩提寺の遺品です。	菩提寺（**ぼだいじ**）地域にある石多宝塔（**せきたほうとう**）や閻魔像（**えんまぞう**）、地蔵（**じぞう**）菩薩（**ぼさつ**）は、かつてこの地にあったとされる少菩提寺（**しょうぼだいじ**）の遺品です。

番号	項目	変更前文章	変更後文章
208	史文化	そのほかにも本市には多くの寺社があり、各寺社で仏像や神像といった神仏習合に関係する文化財が大切に守られてきました。また、各地には磨崖仏等の石仏も多く残っており、神と仏が本市に住む人々の心を支えてきたことがうかがえます。	そのほかにも本市には多くの寺社があり、各寺社で仏像や神像といった文化財が大切に守られてきました。また、各地には磨崖仏（**まがいぶつ**）や小仏（**こぼとけ**）等の石仏（**せきぶつ**）も多く残っており、神と仏が本市に住む人々の心を支えてきたことがうかがえます。
209	暮らしとまつりの歴史文化	③暮らしとまつりの歴史文化	④暮らしとまつりー 地域に息づくまつりと文化の継承　案１ まつりを通じた地域の絆と文化の継承　案２
210		本市には、さまざまなまつりが残っています。	本市には、さまざまなまつりが残っています。

番号	項目	変更前文章	変更後文章
211	暮らしとまつりの歴史文化	村内では五穀豊穣・村内安全などを祈るオコナイや勧請縄吊り、町場では火難厄除けの愛宕まつりやぼんのこへんのこなどがくらしのなかにとけこんで大切に継承されています。	村内では五穀（**ごこく**）豊穣（**ほうじょう**）・村内安全などを祈るオコナイや勧請縄吊り（**かんじょうなわつり**）、雨乞い（**あまごい**）行事、町場では火難（**かなん**）厄除け（**やくよけ**）の愛宕（**あたご**）まつりやぼんのこへんのこなどが暮らしのなかにとけこんで大切に継承されています。
212		また、地域に残る民話や民謡、食文化は、その地域に暮らす人々に大切に守られてきたものであり、各地域の特色を生み出してきました。	また、地域に残る民話や民謡、食文化は、その地域に暮らす人々に大切に守られてきたものであり、各地域の特色を生み出してきました。
213		一方、地域の人々の暮らしは争いの歴史などからも知ることができます。中世の甲賀郡で行われていた甲賀郡中惣による自治や、江戸時代に起きた三上騒動に関する文化財からは、往時の人々の暮らしの様相をうかがえます。	一方、地域の人々の暮らしは争いの歴史などからも知ることができます。中世の甲賀郡（**こうかぐん**）で行われていた甲賀郡中惣（**こうかぐんちゅうそう**）による自治や、江戸時代に起きた三上（**みかみ**）騒動（**そうどう**）に関する文化財からは、往時の人々の暮らしの様相をうかがえます。